



編集発行 第19号
群馬県立桐生工業高等学校
桐生市西久方町1-1-41
TEL (0277) 22-7141
FAX (0277) 46-4703
同窓会事務局 編集部
印刷 株式会社大岡々印刷

会長挨拶

会報「桐雷」
第19号発刊によせて

会長 八木橋祥价



平成19年、今年も世界各地でさまざまな大事件が続発して居ります。国外では、テロや地域紛争、地球温暖化の影響と思われる自然災害等、多数の尊い人命が失われ、悲惨極まりない現状であります。我国でも社会面においては凶悪犯罪が多発し、特に今年には、年少者による特異な犯罪が目立つて居ります。又、地震や台風による深刻な被害等も続発し誠に憂慮に耐えないところであります。

政界では、与党自民党が参議院選挙で惨敗をし、激動の政治状況にあります。一方地方自治選挙も行われ、我が桐生の同窓生も多数の方がチャレンジし見事当選を果たし、地方自治の舞台での活躍が期待されるところであります。改めて母校、桐生の同窓会について申し上げたいと思います。桐生同窓会は、会員相互の親睦と母校桐生の教育振興に寄与することを目的とした会であり、歴代役員の方のご理解とご協力によりいま

群馬を代表する高校同窓会として、発展を遂げてまいりました。本校同窓会活動の土台は、桐生市内の行政区単位と、県下全域、さらに関西、中部、静岡、埼玉、足利等々26支部が結成されており、その支部組織と、活発な活動であり、本校の同窓会活動が県下一と言われている所以でもあります。活動内容につきましては、各支部単位での総会や親睦行事等、本部においては、大勢の同窓生が出席する年一回の定期総会、役員による正副会長会議、常任幹事会、支部長会議等が開催されて居ります。さらに親睦行事としてのゴルフ場を借り切つての親善ゴルフ大会の開催があります。今年も170余名の同窓生の参加を頂いて第16回大会を盛大に開催することが出来ました。そして年一回発行の会報「桐雷」があります。

会報「桐雷」の配布について改めて申し上げます。同窓会の活動、並びに母校の近況をより多くの同窓生に知って頂き、会員同士の意思疎通を図ると共に親睦を深めることを目的に全会員に対し、昨年、試験的に毎戸配布を実施致しました。そして配布費用に充当する任意での協力を同窓生皆様にお願ひ申し上げます。した所、趣旨をご理解頂き大勢の方より送金頂きましたことに対し心より感謝申し上げます。

新校長挨拶

同窓会報の
発刊によせて

校長 木村哲嗣



同窓会報「桐雷19号」の発刊を心からお慶び申し上げます。会員の皆様方に母校の充実・発展に多大なご支援・ご協力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

また、各同窓会支部総会及び総会につきましては大変お世話になりました。ゴルフ大会も200名近い参加をいただき盛大に開催されましたことも、本校が同窓生の皆さんから愛され、支えられていることを強く感じた次第です。お陰様をもちまして、本校の教育活動は順調に行われており、生徒は学習に部活動に熱心に取り組み、確実に成果を上げています。本校に赴任して、早8ヶ月が経過しましたが、毎日放課後、各部署る次第であります。

今年も前述の目的を達成する為に毎戸配布を行うことに致しました。前回事情により送金頂けなかった方々にはぜひ趣旨をご理解頂き、ご協力を頂けたらと願って居ります。以上、お礼とお願ひを申し上げますが、今後とも、同窓会活動の一層の発展充実と母校教育振興を図る上で、ご指導、ご協力を切に望むものであります。終わりに、同窓生皆様の末永いご健勝とご多幸を祈念申し上げます。ごあいさつと致します。

の活発な活動が印象的です。前富澤校長先生の後を受け、職員一同、同窓会諸氏の築いてこられた伝統を受け継ぎ更に発展させたいと考えております。生徒の実態をみますと、工業高校に進みたいと考えて本校に入学してきており、授業や資格取得のために意欲的に取り組み、達成感をもって学校生活を送っているようです。挨拶がしつかりでき、欠席・遅刻が少なく、部活動が活発で1、2年生では9割の生徒が加入しており、校舎北側のグラウンド、硬式野球部グラウンド、テニスコート、各実習棟での活動も盛んに行われています。

今年度の顕著な活動を紹介させていただきますと、前期ジュニアマイスター資格取得全国7位、陸上、体操の個人での関東大会出場、体操の団体出場、ソフト相撲の全国大会出場等があります。また、硬式野球部、バスケットボール男子もベスト16と大変頑張っています。進路面では、平成18年度は生徒が大変頑張っており、国公立大4名、私立大41名、短大・各種専門学校78名、就職94名でありました。今年度も現在健闘中であり、皆頑張ってくれるものと信じています。

さて、現在桐生は耐震工事が進んでおりまして、昨年、今年、来年と3期に分けて実施しているところであり、現在の校舎は昭和40年代に建設されていますが、耐震工事により鉄鋼製のブレスが入り、教室のサッシ、床等も新しくなり、トイレなども最新の自動検知器のついたものになりました。古い校舎の骨組みはそのままですが快適で安全な環境での学習できることになりました。

本校の歴史を省みますと、初代西田博太郎校長先生の「体力をつけ、その上に学力をつける、そしてその上に、日本の、世界の大人物になって欲しい」との訓示は、本校の教育方針の中に脈々と受け継がれていると思います。現在の在校生が、各自の持つ力を磨き発展させそれぞれの夢を叶えられるように職員一同頑張る所存です。同窓の皆様のお一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

第44回 桐生八木節まつり開催



夏には第44回桐生八木節まつりが開催されました。

桐生も、遠坂仲司氏20W・國枝正克氏36Wのご指導のもと、染織デザイン科を中心にジャンボパレードに参加し、最高賞の特別大賞を受賞しました。デザイン科2・3年生は街かどファッションショーに参加しました。現市議会議長は35W佐藤光好氏、副議長は38W幾井俊雄氏です。幾井氏は、祭りの審査委員長でもあります。同窓生のお力を借りながら、参加してまいります。



総会

●期日 平成19年6月30日(土)
●会場 桐生市市民文化会館
4階スカイホール

右記の日程で、130余名の会員の方々の参加をえて、一部総会議事、二部講演会、三部懇親会の三部構成で開催いたしました。

八木橋会長を議長に18年度事業報告、会計報告、監査報告、支部活動報告を始め、平成19年度事業計画案、予算案、役員変更承認され一部の議案が可決されました。

役員変更では、常任幹事に32W星野昭治氏、又支部長に14区27W鳥島主計氏、16区42W星野國威氏、17区40M北村潔氏、笠懸41W杉山英行氏が選任されました。

昨年試行した、会報「桐蓄」の全会員への郵送配布について報告があり全国各地の同窓生より多大な協力をいただき、本年度も例サラトの協力をえて行うこととなりました。

同窓会表彰者として、松永秀雄様16W、池田光二様22W、米山稔様23W、田村重典様30M、大橋勇様



群馬県立桐生工業高等学校 同窓会 総会

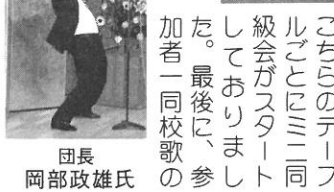
開校記念講演会

本年度、開校73年になる5月1日の、在校生に送る記念講演は、37E卒業の大西氏にご講演をいただきました。例年、OBの方にお願いを申しあげて記念式典としてあります。

大西氏は、社団法人全国社会教育委員連合常務理事として、心豊かな社会を築いていくことを目指して、講演をされました。



講演中の吉田幸弘様



団長岡部政雄氏

31M、岡田成雄様36M、井上久介様38Mの7氏に会長より手渡されました。二部の講演に講師として出席いただいた吉田幸弘氏31Wの人生における「気のパワー」と健康の講演を拝聴しました。吉田氏は、経営コンサルタントを主事業としながら、上海中医薬大学附属上海市氣功研究所・日本教育センター技術顧問もされ、多方面にご活躍されております。三部では、出席者一同大いに盛り上がりあちからこちらのテーブルごとにミニ同級会がスタートして、最後は、参加者一同校歌の合唱を、大合衆を、雄氏43Wのもと閉会しました。



旭日章章受賞し、会長より銀杯を受ける池田光二氏 22W



130余名が出席

16回 親善ゴルフ大会

恒例となった「親善ゴルフ大会」が8月26日(日)、に右記会場にて開催されました。

170名の同窓生が、県内はもとより本年も、埼玉支部・足利支部・静岡支部と県外支部からの参加もあり、天候にも恵まれ大盛況のうちに開催されました。

来年度は、8月27日(水)に会場を桐生カントリーに移して開催致します。同窓生の皆様の参加を心よりお待ち申し上げます。

以下に本年度の大会結果を報告いたします。なお、紙面の都合により敬称を略させていただきます。

◆団体戦(上位5名・ネット合計)

優勝	15 支部	3 5 8	2
優位	13 支部	3 5 9	4
3位	大問々支部	3 5 9	8
4位	藪塚支部	3 6 3	8
5位	14 支部	3 6 3	8



ゴルフをやらない受付事務局長 百海晃弘 50W



団体優勝 15支部 菅谷 隆 37M

◆個人戦(ネット・上位5名)

優勝	金子昌弘	35 W	6 9	4
優位	田島敏靖	H2 E	6 9	4
3位	田島孝宏	45 W	6 9	8
4位	櫻井秀夫	30 M	7 0	0
5位	小山久利	45 E	7 0	2

◆一般 ベストグロウ賞

シニア	一場完次	31 W	7 7	5
一般	図子田守一	47 W	7 4	2



個人優勝(初) 金子昌弘氏 (35・紡織科)

◆二アピン賞
図子田守一・渡辺靖彦
細野忠臣・遠坂伸司・金子松雄
稲垣恵造・大澤岩雄・星野昭司
◆ドラゴン賞
一 般 新井理治・山洞正行
藤田一恵・大澤岩雄
シニア 櫻井秀夫・高草木喜一
中島繁雄・櫻井秀夫



一般ベスグロ 一場完次氏



シニアベスグロ 図子田守一氏

アテネから北京へ

世界陸上7位入賞 団体金メダル

桐工OB(白清食品) 諏訪利成 H7C
記憶に新しい、アテネオリンピック男子マラソン6位入賞の諏訪選手が大阪でも7位入賞しました。

桐工時代の陸上部監督 田島義弘 39D氏によると、食品の監督白水氏・コーチととも、北京オリンピック



www.toshinam

支部活動活発化

毎年の総会、会報発行、鑑賞会、ゴルフコンペ・親睦会等取り分け県外支部には活発な活動をしていただいております。埼玉支部では、秋の親睦旅行を兼ねて母校の桐工フェアや工謳祭の見学、今年11月にはゴルフ組と富弘美術館見学組に分かれサンレイク草木に宿泊、翌日は桐生市で開催された県産業教育フェアを、更に大川美術館・彦部家住宅も見学されました。

一昨年は中部支部の企画で愛知万博見学を兼ねた県外支部合同の総会に静岡県、関西、埼玉支部、桐生・本部からも参加しました。第15と第18支部は2度(相生)、中部と静岡支部は5度合同で総会を開催。第2と第6と第7支部は東地区合同の同窓会。笠懸と藪塚支部では役員が互いの支部総会へ出席し交流を行っております。

ク出場を目指す。アテネオリンピック出場の際には、同窓会・桐工陸上部OB会と合同で激励会を開催し、見事入賞してくれました。



諏訪利成 H7C

田島監督(元)のお話によれば、中学時代の記録はそれ程速くなかったが、とにかく桐工で陸上がやりたいと入学、3年間の練習でトップレベルのタイムがでる様になったとの事。陸上が好きで、ひたすら練習して来た、本人の努力と良い指導者に出会えた結果でしょう。

学校だより 1

建設科

社会人講師授業

群馬県建設業協会・桐生支部土木舗装技術部会の11名の講師においでいただき、さる11月2日(金)に、社会人講師授業を実施いたしました。



当日は、工事に必要な書類の作成授業を行い、午後からは、校庭にて道路の曲線工事を行う丁張実習を行い、写真の様にやさしく丁寧に指導いただきました。

生徒は、先輩方の指導に真剣に取り組んでおりました。中には、女子生徒が1名おりますが、男子の中にはいり、頑張っております。社会人講師授業は、各科も行ってありますが、建設科では永年桐生支部の会社に、お世話いただいております。現場が忙しい中ご指導いただきまして大変ありがとうございます。ごさいます。



染織デザイン科



染織デザインの授業の1つに社会人講師という授業があります。1年間で2年生は2時間、3年生は3時間です。2年生は天然染色研究所の田島先生に草木染めを指導して頂きました。また3年生にはデ

機械科

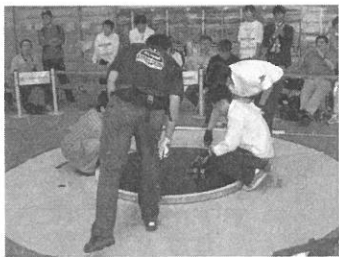
スモウロボット大会

沖縄全国大会へ

ロボット相撲関東大会

214台が熱い戦い

「第19回全日本ロボット相撲関東大会」(全国工業高等学校長協会など主催)が去る10月7日、伊勢崎市今泉町の県総合教育センターで開かれ、総勢214人が自慢のロボットで熱戦を繰り広げた。本県からは高校生35人が出場。「高校の部・ラジコン型」で入



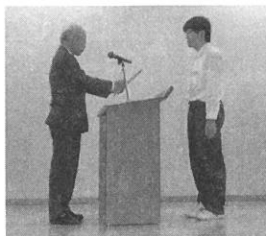
ザインの勉強ということで福島先生に生花のスケッチからデザインということで指導して頂きました。両方とも我々が普段指導できない部分を専門家から直接指導して頂いた貴重な時間です。



写真は桐生新町染流し(8月4日)

賞となった藤生明人君(電気科3年)が、全国大会への進出を決めた。

大会は、高校生を対象とした「高校の部」と高校から一般までを対象とした「全日本の部」の二部門。それぞれコンピユータープログラムが内蔵されている「自律型」と無線操作する「ラジコン型」に分かれている。



大きさ20センチ四方以内、重さ3キロ以内の2台のロボットが、鉄板で作られた直径154センチの土俵内で対戦。土俵から落ちた方が負けとなるルールで争われた。

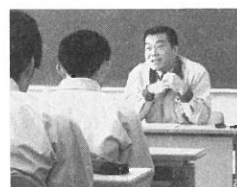
全国大会は「全日本の部」が12月23日に東京・両国国技館で、「高校生の部」が11月23日に沖縄・宜野湾市民会館で行われる。

電気科

1月22日(月)の1・2校時に、

電気科1年生を対象に社会人講師の授業が本校で行われました。講師は昭和46年の機械科卒業の金子竹夫氏で、現在は小倉クラツチ株式会社赤堀工場の生産技術課長として職務にあたらられています。

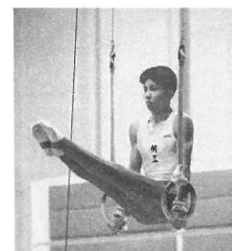
今回のテーマは、「企業が求める人間像(目的意識を持つて生きる)」という演題でお話を頂きました。



今年で4度目の講義になりましたが基本テーマは同じでも、常に新鮮な内容や心に残るお言葉を頂いております。今年は「自分で経験したことが、最後に残る」、いろいろなことを、積極的に取り組み、経験を積み上げていってもらいたい、とお言葉は生徒の心に深く残ったことと思います。ありがとうございました。

体操部

建設科2年・清水翔也君がすばらしい演技をみせ本年度県インターハイ予選で見事個人総合優勝を、佐賀県で開催された、全国高校総体体操選手権大会に出場致しました。



3年生の森島遼平君と2名の部員ですが、地元の体操クラブで練習、さらに上を目指して頑張っております。



定時制

今年度は全校生75名中、1年生が33名入学しました。1年生の持つパワーは強烈で月水金の部活動は10時過ぎまで行われています。教職員は、授業や生活指導等に毎夜奮闘しております。現在69名在籍しています。



軟式野球部は3年連続県大会春秋制覇、北関東大会に出場しましたが、惜しくも決勝は、延長11回まさかの逆転負けでした。陸上部は春・秋とも県大会を制覇し全国大会に9名出場しました。バドミントン・卓球・バスケット部も入賞・ベスト8と成果を残してくれました。

資格取得では、技能検定三級・第二種電気工事士等複数の生徒が合格し、上級をめざしています。

11月には、同窓会の補助を受けた日帰り修学旅行に行き、富岡自然史博物館・白糸の滝、旧軽井沢と雲ひとつ無い晴天に恵まれ、生徒は紅葉の中楽しい思い出を作ることができました。



学校だより II

ラグビー部

顧問 赤石雅彦



平成19年度の部員数は選手14名・マネージャー2名という構成である。昨年度までの十数年間は部員不足に悩まされ、他校との合同といった形で公式戦に参加していたが、今年は単独チームでの出場を目指し、夏の菅平合宿を経て、全国大会予選に参加することができた。結果は予選リーグ敗退だったが、久々の「復帰」に賭けた部員の熱意に今後の活発化への期待を感じる。今後は全国大会はもとより、新人大大会などに参加し、より良い結果を目指して精進していきたい。

山岳部

顧問 岩崎年伸

かつて栄華を誇った山岳部は今や風前の灯、部員が2年生3名しかいません。毎年新入部員の参加を期待しているのですが、時代のニーズに合わないのでしょうか？ただし残された部員の士気は高く、普段の山行だけではなく各種山岳大会に参加し好成績を収めています。今年度は国体予選個人2位他、県の強化選手に2名が指定されました。また10月の山田昇杯では堂々の第1位に輝き、縦走競技3連覇を成し遂げました。今後も桐生山岳部ここにありを示していけたらと思っています。

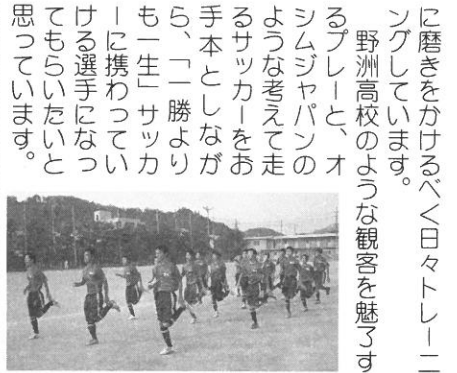


サッカー部

顧問 額田直彦

サッカー部は、現在1年14名、2年13名、計27名で活動しています。少々校庭が狭いのが難点ですが、照明設備のおかげで冬場でもしっかりと練習できる利点もあります。大会ではなかなかよい結果を残せていませんが、個人の技術とコンビネーションを大切に、美しいゴールを目指すことをテーマに、テクニクとアイデア、連携

に磨きをかけるべく日々トレーニングしています。野洲高校のような観客を魅了するプレーと、オシムジヤパンのような考えて走るサッカーをお手本としながら、「一勝よりも一生」サッカーに携わっていただける選手になってもらいたいと思っています。



バドミントン部

顧問 不明

バドミントン部は、現在部員16名で活動しています。日頃の練習では常に向上心を持って取り組むことを基本としています。静かな活動の中にも目的意識を高く持っている生徒もあり今年度新人大会(1年生の部)では優勝・3位入賞する部員もいました。毎日の地道で継続的な努力をしていくことがいかに大事かを痛感していますが、より高いレベル

陸上部

顧問 不明

今年度、久方ぶりに全国高校総体(佐賀)出場を果たすことができました。建設科2年の松島大翔君が、8000Mにおいて、県大会優勝、関東大会4位入賞、全国大会において準決勝進出をいたしました。駅伝においては、県大会で五位に入賞し、44回目の関東高校駅伝大会出場を果たしました。



硬式野球部

顧問 不明

夏の大大会はベスト16でした。来年は甲子園出場を実現したいです。今後も一心不乱に練習し県外遠征でレベルアップを目指します。今後も桐生野球部の伝統を胸に一意専らに、心専らにの精神で精進したいと思います。今後も応援よろしくお願います。



事務局だより

桐工が甲子園出場



県立歴史博物館企画展にて
中央：21年夏・23年春出場 木村一夫氏24・25D卒
右：35年夏出場 萩原 浩氏36W卒
左：清水博史氏36D卒

した関係を前第18号で紹介いたしました。高崎の県立歴史博物館で7月7日(硬式野球夏の大会県予選開幕日に合わせ)から開催された「追え白球!突入本塁」群馬高校野球の近現代史の企画展が終了いたしました。桐工関連の出品も広いスペースで展示されていて、遠路千葉県からも甲子園出場OBに見学いただきました。今年6月に突然、昭和21年大会の準優勝校京



楯 優勝杯・楯
35年北関東大会優勝杯・楯
その他甲子園関連品
(萩原浩氏所蔵36W卒)

都二中(桐工対戦相手)の方より優勝校の浪商の方々と61年ぶりに集い「語る会」を開催するので桐工の当時の選手と連絡を取りたいと電話がありました。今年の夏の甲子園大会開幕前日、甲子園球場の目の前のホテルで開催し、翌日は開会式・野球観戦とのことでした。後日、10月4日の読売新聞に優勝校浪華商業元選手の手記が掲載され、60年前に関することが一昨年からいまだに続いています。情報を事務局までお寄せ下さい。

NZ短期留学

本年も、ニュージーランドのロースヒル・カレッジとの海外研修に、桐工2名・高工6名合同で参加してまいりました。7月24日～8月5日までの行程でした。現地では、それぞれホームステイをしながら現地高校生との楽しい研修や見学をしてまいりました。



本校の国際交流研修には、同窓会よりご援助をいただいております。

編集後記



本年度も、桐生19号を、ここに発行する事ができました。会長挨拶にありますが、本年も全会員に郵送にて配布する事になり編集部も、より良い会報となる様校正を重ねてまいりました。桐生19号が、同窓生の交流に役立ち、又、現在の桐生を理解していただきたいと思います。

発行にあたり、関係各位の御協力に感謝申し上げます。広報担当(副会長) 38W 橋内 俊・41A 篠原 章